

導入製品

■12G-SDI・ルーティングシステム

Ultrix FR5

ROSS Video社 Ultrix

■タリーコントロールシステム

TSI-4000

ROSS Video社 TSI-4000



株式会社 テレテック
保坂 雅一 氏(右)
井上 陽弘 氏(左)



中継車のルーティングシステムと タリーコントロールシステムをリプレイス UltrixとTSI-4000が業務効率の大幅なアップを実現!

まずは次期ルーティングシステムの検討を開始 意外なことから候補機種の絞り込み作業が難航

テレテックは、スポーツ番組・バラエティー番組・情報番組など多くの番組制作に携わり、特に野球やサッカー、ゴルフ、バスケットボール、ラグビーなどの球技はもちろん、駅伝や自動車レース、レスリングなど、様々なスポーツイベントの中継実績を誇っている。

そして、その中継をお伝えする中継車も、4K/60P対応した日本国内唯一のダブルエキスパンド大型トレーラーHD中継車や、モバイル伝送搭載・機動力ある報道中継に対応した小型中継車など、様々な用途に応じた中継車を複数台所有し、日々視聴者の皆さまに興奮と感動をお届けしている。

そうした中継車の1台において、ルーティングシステムとタリーコントロールシステムがリプレイスの時期を迎えており、テレテックでは次期機種の検討を始めていた。

まずはルーティングシステムから検討を始めた同社だが、次期機種の必要条件について、取締役 技術営業本部長 保坂 雅一氏は次のように話す。

「次期ルータは、4Kに対応するとともに、12G-SDIやマルチビューワにも対応し、特にスポーツ中継でとても重要な、SDIルータ内でのオーディオマッピング機能が可能であること、中継車に実装する上で重要な、省スペースであること、などを条件として検討を始めました。」

しかし、導入実績もあり同社が掲げた条件とも合致すると思われていた候補機種が、国内の輸入代理店が取り扱いを終了することになり、その機種は候補から外された。

そのため、同社では別候補の検討を始め各種テストを行っていたが、今度は既存のスイッチャなどとの互換性に問題が生じてしまった。そこで、まずはルーティングシステムの検討から始めた同社だが、その検討を

一旦中断して先にタリーコントロールシステムの検討を始めることとした。

TSI-4000を中核としたタリーコントロールシステム 海外での実績などから以前導入したシステムを再評価

こうした経緯からタリーコントロールシステムの検討に移った同社だが、保坂氏の中では既存システムとの互換性や新規に導入するルータとの親和性といった懸念材料はあるものの、以前別の中継車に導入したシステムが使えないだろうかという思いがあった。それがIMAGE VIDEO社のTSI-4000を中核とするタリーコントロールシステムだ。以前、同システムを導入した際の思いを保坂氏は次のように話す。

「これまで何度か海外で仕事をする機会がありましたが、あちらでよく使われていたのがTSI-4000を中核とするタリーコントロールシステムでした。とにかく応答反応がとても速くて、これはぜひ試してみたいと思っていました。また逆に海外の中継スタッフが日本で仕事をする際にお手伝いをする場合もあるのですが、その際はそれまで自国で行っていたと同様のパフォーマンスが求められます。そうした場面を想定しますと、やはり同等のシステムを準備したいと思っていました。」
かつて、素早いタリーの切り換えが頻繁に行われる音楽番組を担当していた保坂氏にとって、応答スピードはタリーコントロールシステムを評価する重要なポイントだった。



会社概要 Profile

株式会社 テレテック
設立：1976年12月10日
本社所在地：
東京都港区芝公園1-3-1留園ビル3F

テレテックは、制作部門・技術部門・照明部門からなる番組制作を総合的にプロデュースしています。スポーツ番組・バラエティー番組・情報番組など多くの番組制作に携わり、特に野球・サッカー・ゴルフ・バスケットボールなどのスポーツ番組では、国内屈指の大型トレーラータイプの中継車を核にテレビ中継からインターネット中継まで、幅広く対応しています。

<http://www.teletech.co.jp>



中継車の限られたスペースに設置された「TSI-4000」。冗長化されてもコンパクトに収まっている。



株式会社 テレテック
取締役 技術営業本部長
保坂 雅一 氏

さらに、こうしたシステムの応答反応能力について、技術営業本部 システム部 課長の井上 陽弘氏は次のように話す。

「例えば、大規模なスポーツ中継やコンサート収録では、20～30台ものカメラが使われる場合があり、そうすると1台の中継車では困難なので、複数台の中継車で中継することになります。その場合、現場と中継車はもちろん、中継車同士でも頻繁にタリーの受け渡しが行われるため、タリーの確実で素早い反応能力はとても重要です。」

こうした思いを受けて以前導入された同システムだが、導入後も満足のいく実績を残していたため、今回の導入にも期待が持たれていた。

早速テレテックでは、今回の中継車で同システムの各種テストを行った。その結果、既存システムとの互換性には問題のないことがわかり、TSI-4000を中核とするタリーコントロールシステムが有力候補となった。

IMAGE VIDEO社をROSS Video社が買収 同メーカーとなったUltrixを次期ルーティングシステムに

次期タリーコントロールシステムの候補を決めた本社だが、引き続きルーティングシステムをどうするか、その際同システムとの親和性はどうなのか、という課題がまだ残っていた。

そんな折り、デジキャスから提案されたルーティングシステムがROSS Video社のUltrixだった。Ultrixは中継車にも適したコンパクトなサイズながら、SD/HD/3G/6G/12G-SDIに対応可能で、オーディオマッピングやマルチビュー機能など、同社の必要条件を満たしていた。

そして、デジキャスがUltrixを提案した理由がもうひとつあった。テレテックが以前導入したタリーコントロールシステムはIMAGE VIDEO社の製品であったが、そのIMAGE VIDEO社が2020年12月にROSS Video社によって買収されていたため、UltrixとTSI-4000を中核とするタリーコントロールシステムは同じメーカーの製品となり、両システムの親和性という課題もクリアできるのではないかと考えたからだ。

「弊社は自社内でSI作業を行っているのですが、異なるメーカーの組み合わせには時おり苦心する場合もありました。それが今回は結果的に両システムが同じメーカーとなっていたため、仮に何らかの問題が発生した場合でも、それらの対応はメーカー側にお任せできるという安心感がありました。」(保坂氏)

そこで本社では、早速Ultrixの導入テストを開始した。その結果、単体の



TSI-4000を中核とするコントロールシステムにより、タリー信号が素早くマルチビューに表示されている。



[Ultrix FR5]は標準機能として、エンベデッドオーディオやMADIディスクリートオーディオをルーティングし、再度エンベデッドしたり、ディスクリートオーディオとして出力が可能。

パフォーマンス、既存システムとの互換性、そしてもちろんTSI-4000を中核とするタリーコントロールシステムとの親和性においても、すべて満足の内容であったため、正式にTSI-4000を中核とするタリーコントロールシステムとUltrixの採用を決定した。

導入は2023年2月から始まり、同年4月には実稼働が開始されるというスピード導入だった。

新規導入した両システムにより業務効率が向上 業務内容を正確に理解していたデジキャス社を評価

こうしてテレテックの中継車で実稼働が始まったが、現場では特にUltrixのオーディオマッピング機能が業務効率の大幅な向上に寄与している。ゴルフ中継では、各ホールのティーフラウンドとグリーンに固定マイクが設置されており、それぞれの音声を正確に取り込み、映像とエンベデッドする必要がある。

「中継が行われるのは、主に11から18ホールの8ホールになります。各ホールに少なくとも2本の固定マイクがありますので、計16カ所のオーディオマッピングが必要です。これまでは、それぞれからラインを引いてルータの前段でエンベデッドしていました。それが今ではUltrix内でエンベデッドできるのでとても助かっています。ゴルフは同時多発的に複数個所で競技が進むため業務負荷が大きいのですが、中継の正確さや準備段階での業務負担、機材の軽減など多くのメリットを感じています。」(井上氏)

また、TSI-4000を中核とするタリーコントロールシステムによって、各ホールにあるカメラや放送局とのタリー信号のやり取りにも安定感が増したと感じている。

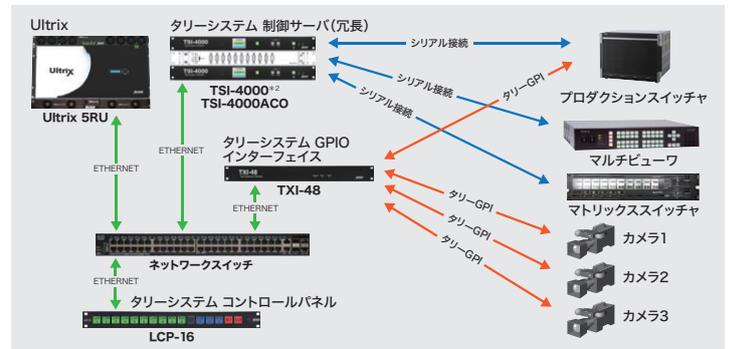
最後に保坂氏は今回のデジキャス社の対応を次のように評価する。

「中継車を長い間空けるわけにはいきませんので、短時間で導入する必要がありました。今回は車内の回線取り回しも含めた大がかりな改修になりましたが、デジキャス社スタッフの確実でスピーディーな対応がそれを可能にしました。それも弊社の業務内容や、中継車で必要とされる技術要件を初めから正確に理解していただけいた結果だと感じています。今後のメンテナンスなどにおいてもデジキャス社には期待をしています。」



株式会社 テレテック
技術営業本部 システム部
課長
井上 陽弘 氏

Ultrix・TSI-4000 システム概要図



2023年10月作成